第47巻1号2023年4月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2023 4月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse

掲 示 板

ぜひ一度、ボランティア交流会にご参加下さい

当館に登録・活動いただいているボランティアは500人を超えます。けれども活動場所が館内かご自宅か、活動内容が点訳、録音、対面、電子書籍、館内作業等々の別によって、ボランティア同士はもちろん、職員とも面識のない方々が少なくないと思います。当館が1979年の開館以来、毎春行ってきたボランティア交流会は、そうしたボランティアと職員間の交流を深めることが主要な目的です。特にこれまで参加されたことのない方は気後れがあるかと思いますが、ぜひ一度お顔を出してくださいませんか。

今年度(2022年度)のボランティア交流会は、４月28日(金)13時～16時15分、当館から徒歩数分の玉水記念館大ホールで開催します。活動歴20年・30年以上のボランティアへの感謝状贈呈と友の会総会、バザーの他、記念講演では、戦災で両手と両目の視力を失いながら、点字を唇で読むことを習得して人生を切り開き、より良い社会の実現に打ち込んで来られた藤野高明（たかあき）さんから貴重なお話しを伺います。

また、友の会の活動費捻出のためのバザーも４年ぶりに開催。お買い得品が多数出品されます。参加申込みは、４月15日(土)までに総務係(電話06-6441-0015)までどうぞ。

全国の「相談・体験可能な施設・団体」を公開

エンジョイ！グッズサロンでは、視覚障害者向け機器や用具を取り扱っている全国の施設・団体にアンケート調査を実施。調査結果をもとに、施設名、地域、電話番号、メール・ホームページアドレス、取り扱っている機器や用具などをまとめてホームページで公開しました。

ご覧いただくには、当館のホームページ(http://www.lighthouse.or.jp/iccb/)を開き、「ニポラチャンネル」のページに進むと、「全国の相談・体験可能な施設・団体一覧」がご覧いただけます。

４月の休館・休室について

４月13日(第２木曜)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫･在庫整理日のため休室。

４月28日(金)＝ボランティア交流会のため製作部は一部休室。休室状況については各係へお問い合わせください。

４月29日(土)＝祝日のため全館休館。

視覚障害者の自己実現と社会参加、文化の発展を目指して
日本ライトハウス創業100周年記念式典に600人がご参加

当法人では、日本ライトハウス創業100周年記念式典・記念行事を３月３日(金)午後、新大阪のメルパルクホール大阪で挙行しました。当日は利用者やボランティア、支援者や全国の福祉関係者、行政機関の代表など約600人が参加され、沢山のお祝いと激励を頂戴し、利用者と職員の意見発表などに熱心に耳を傾けてくださいました。(館長 竹下 亘、点字製作係主任 奥野真里)

支援者・利用者の代表に感謝状を贈呈

記念式典では、まず橋本照夫理事長が「(運営の困難に直面する中)創業当時の初心に戻り、先達の築いてきた理念を踏襲し、視覚障害児・者の徹底した自己実現と社会参加を遂げていくことを目標に支援を展開していきたい」と開会挨拶。続いて、瑶子女王殿下をはじめ、厚生労働大臣、大阪府知事、大阪市長、視覚障害者福祉施設の全国団体や視覚障害者の全国組織の代表から祝辞を賜り、日本ライトハウスの100年間の実績への評価とともに、今後さらに福祉事業を前進させるようにとの激励を頂きました。

続く感謝式典では、法人の諸事業をご支援くださっている54人・団体の方々に感謝状を贈呈。当館からはボランティアと利用者、そして長年ご支援いただいている団体の代表として、以下の皆様(50音順)に感謝状を差し上げました。

感謝状を贈呈した皆様

館内作業ボランティア　板波キミ様
点字製作ボランティア　澤田祐子(ゆうこ)様
録音製作ボランティア　東(ひがし)　佳子様
対面リーディングボランティア　森田幸子(さちこ)様
エンジョイ！グッズサロン利用者　赤堀浩敬(ひろのり)様
図書・情報サービス利用者　岡本良和様
親切会関西支部(朝野順男(じゅんお)支部長)
全国PHP友の会関西エリア本部(片岡明夫本部長)
(公財)一ツ橋綜合財団(相賀(おうが)昌宏理事長)
(公財)毎日新聞大阪社会事業団(丸山雅也支部長)
(社福)読売光と愛の事業団(水田邦雄理事長)

式典では、この後、第40回岩橋武夫賞の贈呈式(シロアム視覚障害者福祉会チェ・ドンイク氏、次頁に掲載)と、当法人のチャリティコンサートでお馴染みのヴァイオリニスト川畠成道氏の記念演奏が行われ、華を添えていただきました。

感謝状をお贈りしたボランティアや支援者の皆様

101年目から目指すべき目標や課題を検討

第２部の記念行事「Go Forward！101年目からの日本ライトハウスに求められるもの」では、橋口勇男専務理事が法人の「100年の歩み」を紹介した後、法人４施設の利用者４人と職員４人によるシンポジウムを実施。利用者から視覚障害者等の自己実現と社会参加と文化の発展を進めていくために求められるものは何かを伺い、職員との意見交換を通して、101年目から日本ライトハウスが目指すべき目標や課題の掘り下げと共有を図りました。

看護師在職中に失明し、視覚障害リハビリテーションセンター(以下「リハセン」と略)で自立訓練と就労移行支援を利用した中島千恵さんは、まったく自身の価値を見いだせず、ずっと心を閉ざしていたが、職員が一対一で寄り添い、話を聴き、中島さんと社会を繋いだことで、前に進み出せるようになった経験を語り、今は看護師の経験を活かし、視覚障害について医療関係者に知ってもらう講演を行うなど、精力的に活動していることを発表。当事者に寄り添う姿勢の重要性とともに、施設の支援が個々の視覚障害者に行き渡るように、眼科・医療と福祉の連携をもっと進めてほしいと訴えました。

高校の数学教師だった西尾淳（あつし）さんは定年後、再就職を目指して職業訓練部に在籍しています。しかし、就職活動に取り組む中で、「視覚障害者はなにもできない」と誤解している社会の厚い壁を痛感していると語り、これまでリハセンで積み上げてきた視覚障害者の就職の成功事例をまとめて公開し、訓練生の参考にするとともに、世間の偏見を取り除くために、社会に広く公開してほしいと訴えました。

また、リハセンに入所している重複障害の利用者の“声”として、後見人の方からのメッセージが紹介されました。ライトハウスと繋がって利用者の感情が安定し、心身ともに健康維持ができていることが評価された一方、今後、コロナの感染対策が緩和された後は、利用者の行動の制限緩和や、社会に開かれた施設の運営に努力するようにという要望が語られました。

情報文化センター(以下「情文」)利用者の山岸蒼太（そうた）さんは、子どもの頃からボランティアに依頼して、製作された点字資料やテキストデータをはじめ、点字ディスプレイやパソコンをフルに活用し、学習や研究を行ってきた経験を元に、情報アクセスについて提言。高齢化等によりボランティアが減少する中、特に教科書・教材支援や国・自治体の広報物といった情報保証されるべき資料の製作には、それに見合う対価が支払われても良いのではないか。また、情報機器や外出支援アプリなどの情報を収集・整理し、その情報を施設から発信して、利用者と社会とを繋いでいくことも必要だと指摘しました。

また、会場から発言した盲導犬利用者の池田純さんは「42年間、盲導犬と歩くことで安心・安全に外出し、社会参加することができた」と経験を語り、盲導犬のさらなる普及を訴えました。

メルパルクホールの舞台とシンポジスト

利用者の求めに応えて、施設と社会の変革を

シンポジウム後半では職員が発言。リハセンの市川としみ職員は、先輩職員から教わった専門技術や知識の重要性を語り、「これからは自分たちが後輩に継承し、次の世代に繋いでいく必要がある。そして利用者が社会に一歩を踏み出す一助を担っていきたい」と述べました。

職業訓練部の福田香絵職員は、社会で視覚障害について理解されていないことがまだまだ多い中、職員が啓発活動に励む必要があることを認め、西尾さんの「就職事例の整理・公表」の要望も受けとめていきたいと語りました。

また、リハセンで重度障害者の支援を担当している徳永愛子職員は、視覚だけでなく障害の重複化、利用者の高齢化が進んでいる今、本人がこれまでの生活に溶け込む形で施設に入所し、安心・安全・快適に過ごしてもらえるよう、開かれた施設を目指していきたいと語りました。

情文の林田茂職員は、「今後、ボランティアのあり方を見直すとともに、ICT技術の活用も重要になるだろう」と発言。施設から利用者にさまざまな機器やアプリのメリット・デメリットを伝えて選択してもらうことの重要性や、眼科、役所、企業、ボランティアなどに広く情文の取り組みを発信し、ネットワークを広げ、社会の理解・環境を変えていく必要があると今後の展望を語りました。

司会の竹下はまとめとして、「現在、当法人の経営が非常な困難に直面する中、単独で視覚障害者の自己実現や社会参加を進めることは困難であり、全国の関係施設や支援者、当事者と連携して社会を変えていくことを目指したい」と呼びかけ、シンポジウムを閉じました。

こうして100周年記念事業は無事に終わりましたが、既に創業101年目に入った今、私達は過去の遺産や伝統にしがみつかず、新たな一歩を踏み出さなければなりません。私達は常に心を新たにし、視覚障害者が直面する課題に向き合い、その声に耳を傾けて前へ進みたいと思います。

第40回岩橋武夫賞をシロアム視覚障害者福祉会のチェ・ドンイク氏に贈呈

日本の障害者福祉は、岩橋武夫の招請に応えてヘレン・ケラーが1937年と1948年の２度に亘り来日し、全国行脚を行った結果、基礎が築かれました。また、岩橋武夫はアジア・太平洋地域に対する戦争責任の反省から「アジア盲人福祉会議」(1955年、東京)の実現に尽力しました。当法人では、こうした国際協力の精神を継承するため1974年、早川徳次遺徳顕彰会と共に岩橋武夫賞を創設。アジア・太平洋諸国等で視覚障害者の教育やリハビリテーション、福祉事業などに活躍・貢献した方々を毎年顕彰してきました。

今回、第40回岩橋賞をお贈りしたのは、韓国ソウルのシロアム視覚障害者福祉会常任理事、兼シロアムインターナショナル副会長のチェ・ドンイク(Choi DongIc)氏で、ウガンダ、タンザニアへの教育支援とミャンマー、フィリピン、ベトナムへの情報化支援事業を推進している功績を讃えたものです。氏は1962年生まれ。ソウル盲学校を卒業し、崇實(スンシル)大学と大学院、ミシガン大学などで社会福祉やキリスト教の牧会学を修めた後、シロアム視覚障害者福祉館館長、韓国視覚障害者連合会会長、大韓民国国会議員を歴任。国会議員時代には世界唯一と言える「韓国点字法」の制定に多大な貢献をされました。

チェ氏は受賞挨拶で、岩橋賞の贈呈は「思いも寄らない奇跡」だと感謝し、「アジアやアフリカを行き来しながら、彼らより良い環境で暮らしている自分がどれだけ幸せなのかを改めて感じます。また、そうした人々に対しては、自分は負債を感じ、いつも申し訳ない気持ちになります。どこで生まれたかが人間の暮らしのクオリティーを決めるこの世界で、私たちが“地球村での一つの家族”と真に言える日はいつになったら来るのでしょうか」と訴えました。

シロアム視覚障害者福祉会と当法人は姉妹提携をしており、福祉館と当館も長年交流しています。これからもシロアムの活動に学びながら親交を深めていきたいと思います。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2023年2月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

2月分完成点字図書

15タイトル41冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

あの人も飲んでいる最強の野菜スープ
(マキノ出版書籍編集部編) 2冊
点:西尾純子
校:宗像真李子　平野 健

有元家のさもないおかず
(有元葉子) 1冊
点:福田真弓
校:池田園子　橋詰玲子

江戸の組織人(山本博文) 4冊
点:市川道子
校:島谷久美子　平野 健

お金で読み解く世界のニュース
(大村大次郎) 3冊
点:田中真理子
校:G校正　平野 健

漢方で免疫力をつける
(仙頭正四郎) 3冊
点・校:G東医

佐藤優の地政学入門
(佐藤優監修) 3冊
点:辻野純代
校:篠原苑子　加尾美千子

自己肯定感が高まるうつ感情のトリセツ(中島輝) 2冊
点:本岡直樹
校:G校正　橋詰玲子

世界一美味しい「プロの手抜き和食」安部ごはんベスト102レシピ
(安部司) 2冊
点:野村惠美子
校:鴻上真理　橋詰玲子

千手學園少年探偵團[5]
(金子ユミ) 4冊
点:中西智子
校:G校正　八木光子

組織で生き延びる45の秘策
(池上彰 他) 3冊
点:本条祐子
校:G校正　平野 健

だれよりも速く走る義足の研究
（遠藤謙） 2冊
点:丸山順介　梶原由美子
校:G校正　橋詰玲子
だれでもわかるゆる仏教入門
（松崎智海） 3冊
点:福田真弓
校:池田園子　橋詰玲子
猫は災いの元
（兎月ぼたん） 3冊
点:中川春美
校:木村寿子　辻野純代
焔ノ地(結城充考） 5冊
点:高橋淳子
校:G校正　加尾美千子
ラクやせおにぎり
（小澤幸治 他） 1冊
点:髙木智佳子
校:G校正　橋詰玲子

♠ 録 音 製 作 ♠

2月分完成録音図書
13タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

ウェブスター辞書あるいは
英語をめぐる冒険
（K・スタンパー） 19:57
音:脇本登志子
校:伊東晴子　西田芳美
編:山崎千代子
鎌倉殿と執権北条氏
（坂井孝一） 9:44
音:水野順子
校:伊東晴子　栗本慶子
荒木良子
編:小林万智子
かゆみをなくすための正しい知識
（順天堂かゆみ研究センター） 3:38
音:畑 豊弥
校:岡田栄子　久保洋子
北川温子
編:辻野玲子
逆転無罪!日本史をザワつかせた
悪人たち(河合敦） 9:14
音:宮 清子
校:石原英子　松井喜美代
編:辻野玲子
“研究者失格”のわたしが阪大で
いっちゃんおもろい教授に
なるまで(千葉泉） 12:35
音:岸田素子
校:有末 道　松井喜美代
編:小林万智子
これだけは知っておきたい
ほんとうの昭和史
（渡部昇一） 7:27
音:川端砂代子
校:濵 欣子　中澤康子
松井喜美代
編:八田芙未子
ジャズの聴き方を見つける本
（富澤えいち） 4:55
音:岡 香代子
校:谷澤耀子　森口慶子
岩崎千佐子
編:橋村惠子
尊皇攘夷(片山杜秀） 27:11
音:桂 公子　佐藤保子
田宮恭子　寺下千秋
校:荒木良子　遠藤敬子
桂 公子　髙梨智子
田宮恭子　吉田典子
編:濵 欣子
宝塚受験 世界にひとつ
しかない夢(川路真瑳） 3:43
音:國分清子
校:金井典子　阪越紀子
編:八田芙未子
茶の湯のトリビア(中村幸） 7:30
音:谷口伊都子
校:澤田由紀　上田道子
松井喜美代
編:辻野玲子
伝える技術はこうみがけ!
（新庄秀規 他） 5:53
音:岡田栄子
校:畑 豊弥　久保洋子
浜本裕子
編:岩田真智子
ゆら心霊相談所4
（九条菜月） 5:19
音:渡辺一枝
校:岩崎千佐子　三原佳子
松井喜美代
編:植田美穂子
令和の葬送(加藤長） 7:32
音:水谷和子
校:大西祥子　有末 道
松井喜美代
編:川端正子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書
「金平糖」第167回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦
校:若林安也子
宝塚歌劇公演チラシ(2枚） 1冊
点:南 佳奈
校:梶原由美子
中学1年理科単元の確認
生物の世界　1冊
点:河村牧子
校:清水浩子
中学2年理科単元の確認 抜粋
3冊
点:河村牧子　木虎真紀
校:清水浩子

録音図書
オーロラ観光ガイド
（佐藤ケンジ） 3:52
音・編:坪田捷子
グレート・ギャツビー　3:31
音・編:浜本裕子
酒とビデオの日々 その2　10:09
音・編:三原太郎
ニューヨーク編集者物語　9:07
音・編:坪田捷子
『別れの予感』ほか楽譜音訳19曲
11:50
音・編:長井純子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2023年3月号
発送:木下正義　中島小夜子
中島千恵　西垣泰子　山田一弘

『読書』2023年3月号
デイジー版　1:06
音:寺下千秋
校:下山とよみ
発送:井川倭文子　板波キミ
　　並木昌子　宮崎ナオヨ

『JRニュース』2023年3月号
点字版　3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～日本推理作家協会のルーキーたち』
2023年3月号
デイジー版　0:12
音:寺下千秋
校:下山とよみ

『子供の科学』2023年1月号
デイジー版　3:19
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
夛田禮子　田中英子　土井明美
宮 清子　吉田 薫

『サイエンスかわら版』2023年1月号
デイジー版　3:50
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
小倉玲子　金井典子　久保洋子
阪本美紀　福島博子　松本紀代
山本雅子

『Tehamo(てはも)』Vol.2 No.3
(通巻5号)
デイジー版　15:14
音・校・編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
荒木良子 岩崎千佐子 植田美穂子
岡村佳子　片岡珠子　金井典子
川端砂代子　久保洋子　坂本雪枝
佐古智子　佐山敦子　関岡直江
羽淵雅子　濵名あきよ　前川祐子
前田元子　山本雅子　渡辺一枝

『日経パソコン』2023年2月号
デイジー版　3:59
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　岡村佳子　小倉玲子
桂 公子　金井典子　川端真知子
北川温子　木村純子　上月直子
小林幸子 小林万智子 小森佳津子
阪本由美子　佐藤圭子　佐山敦子
嶋川真理子 下山とよみ 寺下千秋
寺田美枝子　西村郁子　二宮真理
橋本万里　平田惠美子　福島博子
前田元子　水谷和子　溝渕久美子
目連雅子

『英語よもやま通信』2023年3月号
デイジー版　2:26
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子　中島美穂　中島 睦
中原尚子　西田芳美　西和田惠子
弘津千加子　山本 香

『週刊新潮』デイジー版
◆2023年2月2日号　9:15
榎原真理　岡村勝彦　奥田和美
音無幸子　上田啓子　河原眞知子
衣田智恵美　木村加代　黒河典子
後藤泰子　正田潤子　中村直美
中本和代　西田文子　野村美穂子
兵頭つね子　深津綾子　福田佳代
藤原雅子
編:中本和代

◆2023年2月9日号　10:27
井尻府三重 稲田至功子 上原多美子
大久保美弥　大橋恵子　岡崎節子
上村裕子 川本くるみ 阪本由美子
佐藤公平　澤井 稔　武市敦子
地上博子　寺下千秋　土井静栄
永井憲子 中道由美子 西岡千代子
濵 洋一　福井栄子　増田典子
向髙寿子 八十嶋敦子 山本スズ子
山本晴代
編:佐古智子

◆2023年2月16日号　9:57
荒木節子　岩谷友子　越智真弓子
北村優美子　澤田和代　清水百世
新熊美衛子　髙久俊子　田渕浩子
寺西竹子　中岡兢子　成田次雄
成田由起　西村道子　西本美加子
西山トシ子　直場徳宥　橋本明子
橋本佳子　服部秀美　星子鐵郎
松原和子　山下 豊　山田栄利子
和田文子
編:デイジー大阪

◆2023年2月23日号　10:04
畔田文恵　有川美津子　大島幸枝
大塚しづ子　岡崎節子　岡田栄子
上村裕子　神谷勉子　川添美智子
川端砂代子　久下悦子　久保諄洸
小池雅子　阪本美紀　坂本雪枝
佐藤公平　澤井 稔　沢田玲子
嶋津美香　清水純子　白井律子
鈴木栄二　髙田雅子　髙橋孝子
武市敦子　竹内清子　田宮加代
坪田捷子　冨田久美子　西田千波
野村純子　橋村惠子　濵 欣子
兵頭賢一 平田惠美子 弘津千加子
松浦洋子　矢野ひろみ　山下美穂
和田ゆう子　和布浦眞里子
編:尾島和代

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
　サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

❣ 対面リーディング ❣

青木幹雄　伊東晴子　大西順子
片山紀子　桂 公子　北川 悟
小山久子　坂本雪枝　柴山和子
畠田幹子　松谷富子　森田幸子
森田 陞　吉田典子
2月　利用者10人・18件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

☆ 電子書籍 ☆

◆プライベート製作
いま、子どもの人権を考える
池尻三千子 浦浜容子 加藤珠子
木原富子　佐藤久子　千徳節子
中川幸子 中村宏子 西村佐世子
新田 優　平林隆雄　丸山亜実
森田敏子　大和佳代　山本町子

原本は、前付30ページ、本文976ページ(1ページ 3段組)。本文のうち約900ページに、通信誌「子どもの人権」の創刊号から第55号までが掲載されているという内容で、テキストデータは、総文字数が約178万字に及ぶ、とても膨大なものになりました。

◆テキストデータ
ONE BOOK ONE LIFE
1982年3月号・4月号
千徳節子　新田 優
ONE BOOK ONE LIFE
1982年7月号
山本町子

◆テキストDAISY図書
MONTHLY “日本一”明るい
経済新聞2月号
テキスト化・DAISY編集:
越智真弓子

◆マルチメディアDAISY図書
今昔物語 わたしの古典
テキスト校正:森田敏子
DAISY編集:吉田典子
森田敏子
音:谷口伊都子　澤田由紀
吉田典子

❦ 館内お手伝い ❦

図書・情報サービス
板波キミ　板谷照美　上田敬子
片岡忠克　木村謹治　帰村千恵
小寺高子　田間泰子　塚本紀子
逸見恵子　待田敏彦　宮嶋昌代
森本益子　渡邊洋子
[茨木市バラの会]
堂 晴美　永崎利恵　高見澤央子
村野登紀代 吉田 充 細川惠三子
宮 諭日

◆2月の貸出実績
点字　136tl　DAISY 2849tl
テープ　3tl
★2月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
バナナの種はどこへいった?
(川幡智佳)
謎解き鳥獣戯画
(芸術新潮編集部編)
怪虫ざんまい(小松貴)
その殺人、本格ミステリに
仕立てます。(片岡翔)
【録音図書】
歴史を活かす力(出口治明)
大阪に来たらええやん!
(坂本慎治)
シネマデイジー 霧笛が俺を
呼んでいる(山崎徳次郎)
なぜ若者は理由もなく会社を
辞められるのか?(中野雅至)

整理・情報サービス
板波キミ　板谷照美
鱗星千恵子　逸見恵子

電子書籍
池尻三千子　西村佐世子

✎ 音 声 解 説 ✍
(ボイスぷらす)

◆シネマ・デイジー
「朗読劇 Helen ～ともしびを
かかげて～」
ナレーション:那須由美子

◆上映協力
わろう座映画体験会
「真実」
(2月17日)
尾崎一恵　鹿津直美　田中千壽子
中嶋真弓 那須由美子 西川真知子
廣野美代子　松永和子

✉ パソコンサポート ✉
(ボイスネット)

【2月実績】
週報:高田佳直
HP:中条正信

《一ツ橋綜合財団助成事業》
アクセシブルな電子書籍、シネマ・デイジー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

❋ ご 寄 附 ❋

茨木市バラの会
親切会 関西支部
全国PHP友の会 PHP思いやり運動
玉置明美　中村宏子　本田作江
湯川欣晃
(敬称略をご容赦下さい)

「バリアフリー2023」で「目のコーナー」を開催

当館では、今年もインテックス大阪で開かれる高齢者・障害者の総合福祉展「バリアフリー2023」で、「目の見えない方・見えにくい方のための展示コーナー」を開催します。日時は４月19日(水)から21日(金)の10時から17時。会場は大阪メトロ南港ポートタウン線・中ふ頭駅から徒歩５分のインテックス大阪。入場無料です。

今回の出展は16社。この展示会の「ガイドブック」の点字版、音声デイジー版、大きめの活字版、Ｅメール版を無料でお送りします。４月８日(土)までにお申し込みいただければ、事前に発送します。お申し込みは、エンジョイ！グッズサロン(電話06-6441-0039)までどうぞ。

当館北側横断歩道のエスコートゾーンが再整備

当館北側の横断歩道に敷設されながら、自動車の通行で大部分が剥がれ落ちていたエスコートゾーンがこのほど敷き直されました。当館周辺では、2015年に当館から淀屋橋駅４番出口までの土佐堀通り南側に点字ブロックが敷設されたのを皮切りに、エスコートゾーンは2017年に当館北側、2018年に当館東側の横断歩道に設置されました。これは、利用者の濱田昭二さんと支援者の働きかけで実現したものです。

また、鶴見区の視覚障害リハビリテーションセンターと最寄り駅の放出駅を結ぶルートの点字ブロックの整備も２年がかりで完了しました。これは、同センターの利用者だった小林由紀さんが支援者の協力を得て大阪市に働きかけた結果、実現したものです。2021年９月に白線の引き直し、2022年２月に交差点への点状ブロック設置が行われ、３月初めにリハセンから南西へ５区画分の道路の歩道に線状ブロックが敷設されました。これにより、元々設置されていた放出駅前も含め全体の３分の２程度の距離に点字ブロックが設置されたことになります。

視覚障害者の安心安全な歩行環境を実現して下さったお二人に心から感謝したいと思います。

本誌の表紙絵を片岡朋子(ともこ)さんが担当

今号から１年間の予定で、本誌の表紙絵をイラストレーターの片岡朋子さんに描いていただくことになりました。片岡さんは館内作業ボランティア片岡忠克さんと音訳ボランティア片岡珠子さんのお嬢様で、長年当館のチャリティ事業にご協力くださっています。お楽しみに。

あ ゆ み

【３月】
３日 日本ライトハウス創業100周年記念式典
９日 見学:京都ライトハウス職員
11日 オープンデー(館内見学日･２人)
15日 近畿視情協運営委員会(最終会議)
22日･23日 法人理事会・評議員会(本部)
30日 ボランティア世話人会

予 定

【４月】
13日 サービス部休室(書庫･在庫整理日)
　　職員会議(15:30～休館)
15日 オープンデー(館内見学日･要予約)
19～21日 バリアフリー展(インテックス大阪)
28日 ボランティア交流会(玉水記念館)
29日 全館休館(祝日)
【５月】
3～5日 全館休館(祝日)

編 集 後 記　ハナミズキの花は、桜の花が終わる頃、咲き出します。桜のように待ちわびるわけではなく、春になったら咲いてくれます。1912年にワシントンに贈った桜の返礼として３年後に贈られた木として知られています。それがきっかけでついた花言葉は、「返礼」です。街路樹や庭木によく見かけますね。色は、大ヒット曲の歌詞にある薄紅色やもう少し濃いピンク色もあります。白色も素敵です。花びらのように見えるものは、総苞片<そうぼうべん>という葉っぱだそうです。花に見える部分が葉っぱであるため、美しい姿を長く観賞できます。そのためについた花言葉は、「永続性」や「逆境に耐える愛」。今の幸せがずっと続きますようにと願いを込めて。(一)

ONE BOOK ONE LIFE(ワン ブック ワン ライフ) 2023年4月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
　　情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
　　TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
　　E-mail info@iccb.jp
表紙絵　片岡朋子
発行日　2023年4月1日
定　価　1部100円　　年間購読料1,000円

公式SNS はじめました
twitter Instagram YouTube